

平成22年度 第15回ジャパンオープンハンドボールトーナメント 試合結果・戦評報告書

競技日	8月16日(月)	試合番号	Cタ[C(2)]	回戦	決勝戦
種別	女子	会場	キリンビバレッジ周南総合SC(C)		

Aチーム名 / (都府県)			Bチーム名 / (都府県)		
香川銀行T・H			徳山クラブ		
(香川県)			(開催地)		
得点合計	小計		小計		得点合計
32	19	前半	5	15	
	13	後半	10		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

決勝は、4年連続優勝を目指す香川銀行T・Hと、過去2回の優勝経験のある開催地代表徳山クラブの対戦となった。徳山クラブのスローオフで試合開始。徳山クラブは、8番内富、7番小松、5番新宮のセンタースリーでセットプレーを展開しようとするも、香川銀行T・Hの45°にプレス気味につくディフェンスに阻まれ、香川銀行T・Hはカットからの速攻で得点。徳山クラブの6番谷口の長身を生かしたポストプレーも香川銀行T・Hの粘り強いディフェンスでパスがなかなか通らず決定力に欠く。15分までに、香川銀行T・Hは3番塩田の速攻を中心に得点を重ね、10点差をつける。15分以後も、徳山クラブは、6番谷口やサイドから流れてきた10番藤長のポストプレーで得点するも、香川銀行T・Hの速攻の勢いは止まらず、3番塩田、10番西館などを中心に着実に得点し、19-5、香川銀行T・Hの14点リードで前半を終了した。

後半、徳山クラブは、開始1分に10番藤長のポストシュートで得点すると、9分までは、1番のGK寺崎の好セーブもあり、当たりを強くしたディフェンスで香川銀行T・Hに得点させず、さらに2点を追加。しかし、9分過ぎからは、香川銀行T・Hも速攻による4連続得点で息を吹き返す。その後、徳山クラブは、待望の8番内富のロングシュートが決まり、流れをつかむかに見えたが、香川銀行T・Hも要所で速攻を決め追撃を許さず。後半は、互角の戦いであったが、3番塩田の大量得点もあり、香川銀行T・Hが17点差をつけ圧勝した。

記載者氏名

五嶋 和恵

送信日時

8月 日 () :

送信者サイン